

同窓会だより

卒業生総数：

29,318 人

本巣中学： 2,571 人

本巣高女： 2,592 人

高校(本巣校舎)： 23,950 人

高校(岐阜校舎)： 205 人

編集発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局
(〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺 859-1・TEL (058) 324-1201 FAX (058) 323-0651)



平成二十五年三月一日、二十四年度の

卒業証書授与式が挙行され、真新しい

二百七十六名の同窓会員が誕生した。

式終了後、野球バッケネット裏に歩を

進めた。そこには、五十一年前の卒業

の日に植樹した桜の木(写真)が凜と

して鎮座していたからである。

木造二階建て校舎に学んだ級友は男

子ばかり五十名。屋根裏に居候してい

る鳩がいつもごそごそと動き、夏には

天井からダニが落ち首筋にまとわりつ

いた。卒業学級の愛称を「鳩巣の会(くすのかい)」と名付け、それぞれの道

に踏み出した。

桜の大樹に身を重ね半世紀をさかのぼつてみると、最後のHR終了後三本の桜を卒業記念樹として植えた。そして、皆が肩を組み校歌を歌つた。歌声はグランドに響き級友の顔は紅潮し目は爛々として輝き、誰もが、「つとめてやまじ」の校歌の精神を忘れず精一杯生きてゆくことを決意させる出発式でもあり今もその感動を忘れ去ることはできない。この「つとめてやまじ若人我ら」のフレーズは、私にとつて高校生活のみならず、卒業後の「座右の銘」として生き続けこの半世紀を支えるすべてであつたような思いがする。

卒業後半世紀、桜に問う

同窓会長 中島洋晃

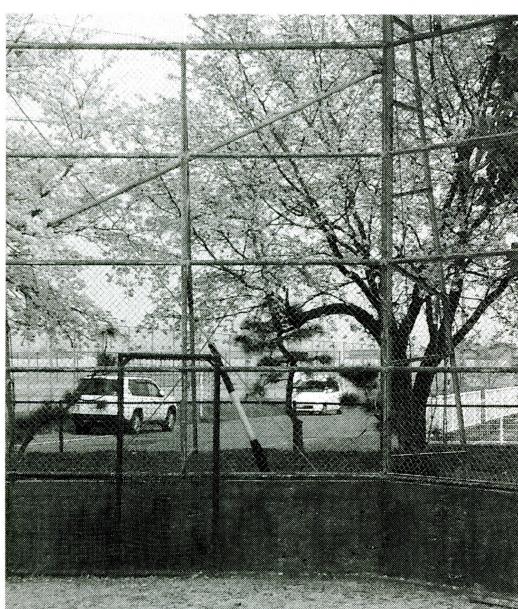
を支え、「つとめてやまじ」の「力める」に通じるともいえる。

卒業して半世紀、青春時代は遙かに遠く、全身に漲っていた若々しさはいつの間にか朽ち果てようとしている我が身。これから的人生の「つとめる」に最も相応しいあり方は一体何だろうかと桜の大樹に問い合わせつつ、しばしが確実に歌い継がれ、三月一日の卒業式では式歌として歌われその歌声が式場や校庭一杯に響き渡り大きな感慨を胸にした。

あえて平仮名となつていて「つとめて」に焦点を当てて鑑みると、「つとめる」には、勤勉の「勤」や「勉」も「つとめる」であり、勤務の「務」も「つとめる」である。また、努力の「努」、や「力」も「つとめる」と読むことは言うまでもない。この「勤・務・努・力・勉」の漢字は様々な立場でそれぞれの漢字に相応しい場面で登場しそれぞれの役割を發揮している訳である。あら

ためてこれらの漢字の字体を見ると、すべてに「力」が組み込まれていることに気づくのである。

母校の校訓は、「質実剛健・克己邁進」であり、教育目標は「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かでたくましく生きることのできる生徒の育成を目指す」として、日々の教育活動が推進されている。「たくましく生きることのできる」ためには「いきる力」が根底



に新旧の違いはありえず常に私の中にその「力」がみなぎり、日々の「いのち」を生きている。その「いのち」がある限り「つとめてやまじ」我が「いのち」であるべきだと、何とも妙なる答えを見いだしたことである。

桜の大樹を仰ぎ見ると、しなやかな小枝がそつと私の頬を撫でた。寒くとも、桜花爛漫の春を迎えると桜の「いのち」が躍動し「つとめてやまじ」の勢いを感じたことである。

本部総会・懇親会

箕浦 隆（昭五十七卒）

平成二十四年度岐阜県立本巣松陽高校同窓会本部総会・懇親会が、八月十一日(土)に、ホテルグランヴェール岐山において開催されました。参加者は、今年の当番学年(昭五十七卒)102名を含め総勢126人の参加者で盛大に開催されました。

総会

司会進行は西尾侑一常任理事(平十六卒)で、遠山信義副会長(昭四十卒)による開会の辞、中島洋晃会長(昭三十六卒)と小見山名譽会長(学校長)の挨拶をいただき、高坂常任理事(昭三十五卒)を議長に、各議事を協議し、遠山副会長による閉会の辞で無事終了しました。

懇親会

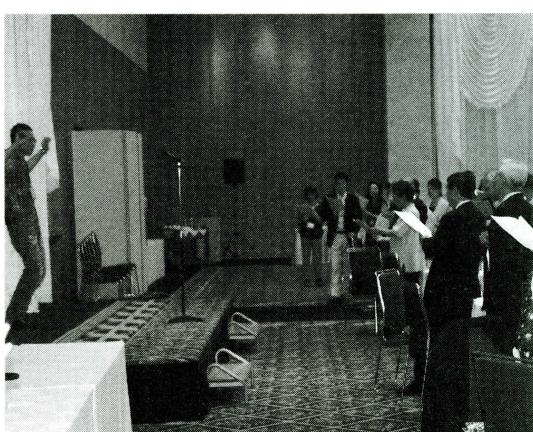
この日、三十年ぶりに再会した当番学年(昭五十七卒)同窓生は、皆それぞれの人生で積み重ねた経験と、時の重なりで、はじめ一瞬お互に誰が誰だかわからないでいる仲間もいましたが、不思議なもので、再会して数分後には、かつての学び舎で一緒に過ごした面影が甦り、わずかな懇親会の一時を、大変楽しく有意に過ごす事ができました。

今回同窓会にご出席いただけた、矢島先生・澤村先生・服部先生・高橋先生・田中先生の五名の恩師を代表して矢島先生から、教室では聞く事の無かつた、大変ありがたいご挨

拶をいたただくことができました。

懇親会は、当番学年に進行や余興をお任せいただけるという事で、半

年間、この総会に向けて準備を積み重ねてきた各クラスの代表幹事の中から、同窓生同士でご結婚された加藤夫妻に司会をお願いし、箕浦の開会の辞に続き、出席いただけた恩師の懐かしい思い出話や、当時聞く事のできなかつたエピソードを交えた紹介を山下・谷篠・堀幹事からしていただき、赤尾幹事の愉快で楽しい乾杯の発声で会がスタートしました。食事の間には、当時流行っていた懐かしい歌謡曲をバックミュージックに、在学時の行事で撮影したスナップ写真や卒業アルバムを、わざわざアナログからデジタル化してスライドショー上映を行ないました。



関西支部

支部長 河村 利

平成二十四年五月二十六日(土)

に、関西支部総会・懇親会を新大阪駅前のワシントンホテルにて開催をいたしました。本部からは、中島洋晃会長と森本事務局員のご出席を賜り、会員十七人のご出席の下、無事開催することができました。

引き続き同じ会場にて、二次会とエールと掛け声で大合唱を行ない、臼井幹事の閉会の辞で一旦終了しました。

束し、連絡先の交換や次回の計画を行なった様です。グランヴェール岐山さまの大変丁寧なご対応により、参加者全員が満足してそのまま帰路に着くと思つたのですが、その後予想していた以上に大勢が再集合し、深夜まで岐阜の町で楽しんだのは言うまでもありません。是非後輩達も同じ様に懐かしい時間を楽しんでくださいことを祈念いたしております。

今回もその議論になり、今回は二年に一回開催するということに決定いたしました。ただし、出席者以外の人には分らないことなので、来年も開催してその次から二年ごとに開催することになりました。

また、次回には支部長を交代すべく人選の議論をしていただいたのですが、引き受け手がなく、次回への継続審議ということになりました。

一番の問題は、個人情報保護法に絡み、名簿が発行されなくなつたため、新しく関西に来られた方の住所を把握することができないと共に、住所変更をされた方の新住所を把握できないこと、さらに、卒業をして就職などにより関西に住居を構えられる方の人数が昔と比べて大幅に減つていること、あります。現方に卒業をして関西に在住されている方は現在でも毎年で二十〜三十人いらっしゃるのですが、平成元年以降に卒業された方で、関西在住で住所を把握できているのは、二十数年間で僅か七人しかいません。このよう

しかしながら、今回も三百名弱の会員に案内をお送りしたにも拘らず、出席者の数はその一割にも満たない状態で、開催意義も問われる状態にあります。前回の開催のときも、開催を二年または数年に一回にするか、という議論をして頂いたのですが、結局毎年行うということになります。が、今回もその議論になり、今回は二年に一回開催するということに決定いたしました。ただし、出席者以外の人には分らないことなので、来年も開催してその次から二年ごとに開催することになりました。

また、次回には支部長を交代すべく人選の議論をしていただいたのですが、引き受け手がなく、次回への継続審議ということになりました。

一番の問題は、個人情報保護法に絡み、名簿が発行されなくなつたため、新しく関西に来られた方の住所を把握することができないと共に、住所変更をされた方の新住所を把握できないこと、さらに、卒業をして就職などにより関西に住居を構えられる方の人数が昔と比べて大幅に減つていること、あります。現方に卒業をして関西に在住している方は現在でも毎年で二十〜三十人いらっしゃるのですが、平成元年以降に卒業された方で、関西在住で住所を把握できているのは、二十数年間で僅か七人しかいません。このよう

(3) 平成 25 年 4 月 1 日

に新入会員の見込みはなく、高齢者の死亡や病気、転出により減少しか見込めない会を盛り上げていこうという意欲のある人は出てこないことがあります。

そのため、次回も支部長の引き受け手が現れなければ、会の自然消滅も考えざるを得ない状況に陥っています。

**一十五年度関西支部
総会・懇親会**

平成二十五年五月十九日（日）
十一時三十分～十五時
東天紅 OMM 店
※地下鉄、京阪電車の天満橋駅下車

支部長 福田英明

平成二十四年関東支部総会・懇親会を、四月二十二日正午から都内アルカディア市ヶ谷「私学会館」で開催いたしました。本部からは小見山輝明校長、遠山信義同窓会副会長、広瀬勝己事務局長が来賓として出席されました。会員の参加は八十四名、オブザーバー七名でした。最年長が高橋秀道氏（昭十六卒旧本巣郡文殊村）最年少は村瀬啓輔氏（平十七卒岐阜市）でした。

総会にさきだち昨年四月から今年三月迄に逝去された会員のご冥福を祈り黙祷を捧げ、田口勉氏（昭

四十卒）の司会で会が進行され支部長の挨拶、来賓の方々の祝辞に続き平成二十三年度の事業報告及び会計報告を行い、続いて白木康夫君（昭三十一卒）の紹介で同期の後藤英夫君が講演をしました。彼は母校を卒業後名古屋工業大学電気工業科を卒業、富士電機に入社、平成九年迄同社で活躍。学生時代から趣味は数学と常に答える程数学に傾倒、退社後も益々その趣味が昂じ講演の依頼も快諾してくれました。その彼が、「素数の謎」という演題で一、素数とは。二、合成分数。三、エラトステネスのふるい（・・・）等をわかりやすく解説、更に郷土が生んだ世界的数学者高木貞治先生（本巣郡糸貫町数屋）の代表的な業績「高木の類体論」という整数論の中の最高しかも最も美しい理論を講演し、難解ながらも大変好評でした。

懇親会の司会は、田口学氏（昭四十六卒）が担当、高橋秀道氏の乾杯で始まり初参加者紹介、林英さん（昭三十一卒）が新舞踊「花」を披露して拍手喝采。学年別記念写真撮影、全員参加のビンゴゲームを楽しみ、汲田仁彦氏（昭和二十四年卒）山田幸子さん（昭三十一卒）リーダーのもとで校歌を齊唱し、日比野英一氏（昭三十卒）の閉会の挨拶で散会いたしました。

同窓会は、参加者の会費と年会費とで運営されております。過去には百五十人から百七十人の参加者ががあ

り、運営は順調でした。が、昨今、会員の高齢化と漸減に伴う支障を覚え、年会費のご協力をお願いいたしましたところ多くの会員の皆様方のご協力を頂きました。本当に有難く幹事一同心から感謝しております。平成二十三年の東日本大震災の義援金として三万数千円のご寄附を頂き、毎日新聞社を通して被災地に送金をお願いしました。感謝しつつ附記させて頂きました。



**一十五年度関東支部
総会・懇親会**

◎平成二十五年四月二十二日（日）
正午～
アルカディア市ヶ谷（私学会館）
※JR、私鉄の市ヶ谷駅下車

私たちが本巣高校を卒業したのは昭和五十八年三月でした。当時の社会情勢は東西冷戦の最中、世界各地で様々な事件が起こっていましたが、今振り返れば新たな時代への胎動期がありました。高度経済成長転換期に生まれた私たちは「新人類」



や「しらけ世代」と言われましたが、当人たちは決して冷めている訳でも熱しすぎる訳でもなく、質実剛健の校訓のもとひたむきに高校生活を送っていました。それを支えていただいた恩師の先生方には今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業から三十年が過ぎました。在校期間の十倍もの年月です。現在同級生の皆さんはそれぞれの立場でご活躍のことだと思います。しかしこの間折にふれ思い出されるのは高校時代の事であるのは私だけではないと思います。ひたむきに過ごした日々は、打算がなく純粹であつたが故に思い出も鮮明に蘇ると考えています。さて来る八月十日（土曜日）に開催されます同窓会総会・懇親会は昭和五十八年卒の私たちが当番学年です。暑い夏の短い時間ではあります。が、多くの方々に御参加いただき、友人、恩師との思い出話に花を咲かせ、さらに次の新たな日々への糧になる一日にしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

（昭五十八卒 高橋 裕司）

名古屋支部

支部長 高坂英夫

春爛漫桜前線が北上しています、校庭の桜も満開に咲き誇った事だと思います。私は前高木支部長の後任、

三十五年卒業の高坂英夫です。高木

先輩には、永い間同窓会の世話役をして頂き、有難うございました。感謝申し上げます。先輩の思いを引き継いでいきたいと思います。

古希を過ぎても春は高揚感を持たせてくれます。日頃より『明るく、元気、素直で、喜び、楽しみの人生、有難うございます』の人生を送りたいと思っています。しかし残念ながらなかなか思うようにいきません。

さて、早いもので東日本大震災か

ら 2 年が経過しました。当時は絆と

いう言葉が持てはやされ、温かい気持ち、助け合いの気持ちで、ボランティアに参加された方も多く被災者の方に感謝されました。また海外か

らも日本人の行動に、称賛の声が多く届いていました。しかし残念ながら、熱しやすく冷めやすい国民性でしょうか、最近の新聞にボランティアへの参加者が不足していると、紙面に載っていました。

支部長交代時に、前は 2 年毎に総会を開催していたが、会員が集まらないから 3 年毎に変更したと報告を受けました。また前回は参加者を増やす為に、懐かしい母校を訪問、その後徳山ダム見学をしたのち徳山会館で昼食 2012 年 6 月 9 日の今回は（昨年）はプラネタリウム見学後、中島同窓会長、小見山校長先生、同窓会担当の井深先生にご来席頂き、名古屋商工會議所で開催致しました。これも高木支部長（昭二十七卒）の母校に対する強い思いでした。

今回 659 通案内送付に対し、出席回答 42 通、欠席回答 313 通、未回答 340 通、回答率 4.9% で回答率に淋しい思いをしました。少し

会員の皆様からの寄付

| | | |
|-------|---------|----------|
| 若原 忠義 | (昭十七卒) | 二十二口 |
| 中島 洋晃 | (昭三十六卒) | 十二口 |
| 遠山 信義 | (昭四十年) | 二口 |
| 神谷 保夫 | (昭四十一卒) | 十口 |
| 福田 准子 | (昭四十三卒) | 三口 |
| 郷 和子 | (昭五十年) | 十口 |
| 後藤さおり | (昭五十七卒) | 一口 |
| 高坂 英夫 | (昭三十五卒) | 十二口 |
| 鷺見 悅子 | (昭二十四卒) | 六十口→五十二口 |
| 郷 和子 | (昭五十卒) | 十口 |



平成二十四年度 部活動等の成果

体育系

- ・ 岐阜県高校総体
- ・ 県高校選手権大会
- ・ バドミントン部

第 3 位
準優勝

- ・ 県バドミントン選手権大会
- ・ シングルス女子 2 部 B

3 位

文化系

- ・ 県美術展青年部
- ・ 書道部

優秀賞
入選

- ・ 高校生国際美術展
- ・ 大学賞

井川伸代
石原朋恵
佐合成美

でも母校愛を促す為の対策をと思
い、出来る限り今回より役員を、卒
業年次が異なる方に、また女性の方
に声をかけました。又毎年役員会を
開催し、情報交換の場を作る事にし
ました。次回は 2015 年 6 月の予
定です。多数の参加者を期待してい
ます。

- ・ 岐阜女子大学全国書道展
- ・ 県総合文化祭書道展個人作品部門

奨励賞
井川伸代
青木愛梨
金賞・岐阜県教育委員会賞

- ・ 県高等学校連合音楽会
- ・ 県児童生徒化学作品展

最優秀賞
堀部亮太
銀賞

- ・ 県吹奏楽コンクール
- ・ 第 67 回国民体育大会

第 6 位
銃剣道競技少年男子
堀部亮太

- ・ 全国高校生銃剣道大会
- ・ 県銃剣道選手権大会

優勝
堀部亮太
準優勝

- ・ 第 67 回国民体育大会
- ・ 全国高校生銃剣道大会

最優秀賞

- ・ 第 67 回国民体育大会
- ・ 全国高校生銃剣道大会

優勝
堀部亮太
準優勝

- ・ 第 67 回国民体育大会

銀賞

- ・ 第 67 回国民体育大会

第 6 位
堀部亮太
準優勝

- ・ 全国高校生銃剣道大会
- ・ 県銃剣道選手権大会

優勝
堀部亮太
準優勝

- ・ 全国高校生銃剣道大会
- ・ 県銃剣道選手権大会

優勝
堀部亮太
準優勝

- ・ 全国高校生銃剣道大会
- ・ 県銃剣道選手権大会

優勝
堀部亮太
準優勝